

4月28日：マーケットは上昇、VN指数は2日続伸

不動産、素材、銀行セクターの大型株への買戻しにより株価は上昇、VN指数は2日続伸となった。ホーチミン市場の主要指標であるVN指数は0.8%（9.8ポイント）高の1,229.55ポイントで取引を終えた。騰落別では280銘柄が上昇、128銘柄が下落した。46銘柄は変わらずだった。

出来高も多く、国内勢は15兆4,000億ドン以上（約6億1,270万株）を買い入れた。

アナリスト達の下落予想とは反対にVN指数は上昇した。

「VN指数のわずかな上昇と出来高の低さは、買い需要が乏しいことを示している」（サイゴンハノイ証券（SHS））

「テクニカル面では4月20日に1,286ポイントの高値を付けた後、同指数は終値ベースで1250ポイントを維持できていない。そのため同指数は1,140ポイントまで視野に入れる修正波に乗っている」（同証券会社）

5月に調整を完了させるため、株価は下がり続ける可能性があり「本日の底値買いによって株価はさらに安値へ下落する可能性がでてきた」（同証券会社）

マーケットでは幅広いセクターの大型株への買戻しから上昇したが、主に不動産、素材、銀行セクターであった。

VN30指数は0.8%高の1,294.06ポイントで取引を終えた。

同指数採用銘柄のうち、21銘柄が上昇、7銘柄が下落した。

マーケットの値上がり寄与度トップ5には、不動産関連が3社、銀行関連が1社、素材関連が1社が含まれた。その値上がり寄与度トップにはノバランド不動産投資（NVL）+5.35%、その次にベトナムゴム工業グループ（GVR）+6.84%、VPバンク（VPB）+3.38%が続いた。

残り2社にはビンコムリテール（VRE）とビンホームズ（VNM）がランクインした。その一方で複数の銘柄が下落し、指数上昇の重しとなった。その中でも値下がり寄与度トップはビナミルク（VNM）で2.09%下落した。

ハノイ市場では、大型株の上昇から HNX 指数が反発。同指数は 0.54% 高の 282.07 ポイント、VN30 指数も 0.71% 高と買われた。

売買高は 9 億 6,900 株以上で売買代金は約 2 兆ドンだった。

外国人投資家は両市場（ホーチミン、ハノイ市場）で引き続き買い越し、買い越し金額は 3,952 億 7,000 万ドンだった。買い越し金額はホーチミン市場で 3,929 億 4,000 万ドン、ハノイ市場で 23 億 3,000 万ドンだった。

一方で UPCOM では 85 億 4,000 万ドンが売り越された。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。